

電池式 住宅用火災報知器 けむり当番・ねつ当番 **薄型単独型<標準>**

警報音量1mにて
約90dB^{※4}

電池寿命
約10年^{※5}

既存住宅に、配線不要で手軽に設置でき、インテリアにもスッキリ。聞こえやすい『警報音』とわかりやすい『音声』で緊急事態をすばやくお知らせします。



SHK48455
オープン価格

けむり当番 薄型 2種
(電池式・移動検点なし)
(警報音・音声警報機付)
検定型式番号:住警第30-7号



SHK48155
オープン価格

ねつ当番 薄型 定温式
(電池式・移動検点なし)
(警報音・音声警報機付)
検定型式番号:住警第30-10号

■火災発生や機器の異常をわかりやすい「声」でお知らせ。

火災発生はもちろん、機器の異常、電池切れ(電池式のみ)、動作試験時の試験結果(故障か正常か)も音声で知らせます。

火災発生時 ピューピュー 火事です 火事です	機器異常時 ピッピッピッ 故障です	動作試験時 ピッ 正常です	電池切れ時 ピッ 電池切れ です (電池式のみ)
---------------------------------	-------------------------	---------------------	--------------------------------------



業界最薄 25mm^{※1}
(電池式無線式連動型において)

※1) 市販の住宅用火災報知器(電池式無線式連動型)日本消防規格認定品において、2018年10月、当社調べ。

NEW 機器交換時期をお知らせ。

設置後10年経過を作用灯(赤)が点滅し、機器交換をお知らせ。交換のタイミングをしっかりと把握できます。



NEW 非火災報の要因となるほこりへの対策を強化。

パナソニック独自の光学解析技術で開発したけむり検知部新設計により、居住空間の中でどうしても発生してしまう“糸くず”や“綿ぼこり”による非火災報を最小限に抑えます。

※糸くず・綿ぼこりとは、洗濯や衣類などから出る繊維のくずのことです。

環境にも配慮した省電力設計。

専用リチウム電池1本で、約10年^{※2}作動します。

眠りを妨げないよう、夜間に鳴りにくい電池切れ警報遅延機能付。

電池電圧は気温が低くなる夜間に低下するため、電池切れは夜間に検出されやすくなっていますが、電池切れ警報遅延機能により電池切れメッセージの鳴動開始を遅らせ、眠りを妨げないように配慮しています。

もしもの時はハッキリお知らせ。

- 警報音は約90dB^{※1}。
- 警報音は高齢者や子供にも聞き取りやすい0.3kHz~4kHzの幅広い周波数帯を採用しています。



電池式 住宅用火災報知器 けむり当番・ねつ当番 **薄型ワイヤレス連動型<オプション>**

連動可能台数
最大15台^{※2}

ワイヤレス連動型別棟設置
約100m^{※3}

警報音量1mにて
約90dB^{※4}

電池寿命
約10年^{※5}

1ヶ所で検知すると、家じゅうにすばやくお知らせする連動型。聞こえやすい『警報音』とわかりやすい『音声』で緊急事態をすばやくお知らせします。

キッチン(熱)1ヶ所
階段4箇所
の場合(差額)
+33,000円



SHK42711 親機

希望小売価格 10,000円(税別)
※掲載の価格には消費税は含まれていません。
けむり当番 薄型 2種
(電池式・ワイヤレス連動型・あかり付)
(警報音・音声警報機付)
検定型式番号:住警第30-13号



SHK42421 子機

希望小売価格 9,700円(税別)
※掲載の価格には消費税は含まれていません。
けむり当番 薄型 2種
(電池式・ワイヤレス連動型・あかり付)
(警報音・音声警報機付)
検定型式番号:住警第30-14号



SHK42127

希望小売価格 9,220円(税別)
※掲載の価格には消費税は含まれていません。
ねつ当番 薄型 定温式
(電池式・ワイヤレス連動型)
(警報音・音声警報機付)
検定型式番号:住警第30-15号

NEW インテリアにも馴染みやすい、薄型フラットデザイン。

薄型ボディに高機能をスッキリ凝縮。照明による影も軽減でき、空間デザインを損ないません。

GOOD DESIGN



業界最薄 25mm^{※1}
(電池式無線式連動型において)

※1) 市販の住宅用火災報知器(電池式無線式連動型)日本消防規格認定品において、2018年10月、当社調べ。

親機は電波の中継機能付。

子器~子器間で電波が届きにくい場合、親機が電波を中継します。
●親機は家の中心に設置することをおすすめします。



ワンプッシュで「かんたん登録」。

親機と子器を近づけて登録ボタンを同時に押すだけの「かんたん登録」になりました。

●詳しくは27頁をご覧ください。



親機と子器を近づけて登録ボタンを同時に押すだけ。

動作試験がかんたん。

親機もしくは子器のうち、1台を操作すると、すべての警報器が連動して動作試験ができます。試験時は大音量の火災警報音ではなく、ご近所のご迷惑にならない程度の音量で、「ピッ正常です」と約1分間鳴り続けるので、1人で見て回ることができます。